

日蓮大聖人の言葉から学ぶ：石中の火 木中の花

心を結ぶ本泉寺通信

Musubi

Vol.04
2023
春彼岸号

日蓮宗大荒行堂
四百日成満

令和五年度 春季彼岸会

彼岸入り 三月 十八日(土)

中 日 三月二十一日(火)

彼岸明け 三月二十四日(金)

寒い冬が過ぎ、暖かな春をむかえるとお彼岸がやってまいります。

お彼岸の一週間は先祖を敬う大切な日々です。

ご家族の皆様でお寺へ

お参り下さい。

◆お塔婆の申込も受け付けております。お申し込みはお早めに。

【春季彼岸会法要】

三月二十一日(火)

正午より

於 本泉寺本堂

●お彼岸には

仏壇のお掃除を

ご先祖様のおられるお仏壇は常に清らかにするように心掛ける場所ですが、彼岸中には特に綺麗にしましょう。

まずは、ご先祖様に「お掃除をさせていただきます」と合掌してから、ご本尊やお位牌、仏具などを外に出して、毛ばたきなどで埃を落とし、乾いた布で軽く拭く程度が良いです。

近頃では、仏壇がないご家庭も多くなって来ましたが、ご先祖様の写真立てを新調したり、拭き掃除などをしてみたいかがでしょうか。

お花やお水、お菓子などの供物を手向け、日々の感謝をするだけでもご先祖様は喜んでくれるのです。



本泉寺開山四百年慶讃浄財

奉納者芳名

令和4年12月

参口 八潮市 滝口勝四郎様 一回目 計参口
 壺口 八潮市 滝口勝幸様 一回目 計壺口

令和5年1月

式口 三郷市 恩田孝一様 一回目 計式口

奉納者名

参口 八潮市 恩田一夫様 一回目 計参口
 式口 足立区 恩田明広様 一回目 計式口
 壺口 朝霞市 川端 登様 一回目 計壺口
 壺口 葛飾区 恩田富美枝様 一回目 計壺口
 壺口 三郷市 山後和義様 一回目 計壺口

勸募期間 令和九年十月十二日まで
 勸募金額 一口壺万円より

引き続きご協力をお願い致します。

星の神様妙見くんに聞いた

干支九星吉凶予報

7月までの予報です



妙見くん ©



3月は西の方角が要注意。西は西の方位でもあるから卯の人は特に注意してね。戌の人には協力者が現れるかも。

大吉・未、亥	五黄殺・東
小吉・戌	暗剣殺・西
凶・子、巳、午、酉	月破・西



丑は破れの作用があるから作業効率下がって力を発揮できないかも。申は運気が上昇するから周りの評価もアップするよ。

大吉・申	五黄殺・東南
吉・子、酉	暗剣殺・北西
凶・丑、卯、巳、戌	月破・北西



丑と酉は金運アップの大チャンス。神仏へのお願ひもよく届くから神社仏閣へお参りしよう。(申は吉凶両面あり)

大吉・丑、酉	五黄殺・ナシ
小吉・申	暗剣殺・ナシ
凶・寅、午、申、亥	月破・北西



戌は午の影響を受けて頭脳明晰になるから学生の人達は勉強に励むと成果がでるよ。寅は小吉だけど邪魔が入るから注意。

大吉・戌	五黄殺・北西
小吉・寅、未	暗剣殺・東南
凶・子、卯、酉、亥	月破・北



卯は物事を整える良いタイミングだよ。戌は破れの作用が強くてしてしまうから、無理はしないで力を蓄える月にしよう。

大吉・卯、亥	五黄殺・西
小吉・午	暗剣殺・東
凶・子、丑、寅、戌	月破・北東

日蓮宗大荒行堂

四百日成満

〜回想録〜

令和五年二月十日午前六時
壱百日の間、俗世との境で
ある大荒行堂の瑞門が開か
れ、修行僧百十五名の出行
を以て本年度の大荒行堂は
無事閉堂した。

日蓮宗の大荒行堂は寒壱
百日の結界修行で、毎年十
一月一日から二月十日まで
千葉県市川市の中山法華経
寺にて行われている。

俗世と隔絶された修行僧
は『止暇断眠』※1の言葉の
如く、一日に七度の水行と

読経三昧を日課とし、白粥
をすすり、眠りを断つ苦行
を行うのである。

拙僧も平成十二年に初行
を成満して以来、昨冬の修
行を以て、通算四百日の結
界修行となったのであるが
齢を重ねての修行は心身と
もに過酷であった。

特に今行堂は、新型コロナ
ナ蔓延の影響下での開堂で
あったことから、衛生面に
は徹底が図られ、手指のア
ルコール消毒と水行時以外



のマスク着用が義務付けら
れ、不自由したことは記憶
に新しい。

とはいえ、四百日目の加
行ともなれば初行僧のよう
に、がむしゃらに修行に打
ち込めば良いという事では
なく、五行僧と共に荒行堂
をどのように動かしていく
か、初行僧を無事に成満さ
せるにはどうすれば良いか
という事に頭を使つていく
ことになる。特に今行堂で
は衛生班を任せられ、初行僧
の体調や体重の管理、長時
間の正座による足の怪我な
どのケアに大きく時間を割
いたことは、未知の経験で
あったと同時に、大変貴重
な経験をさせていただいた
と感謝している。

四行僧は「水神相承」と呼ばれ、水神（龍神）を感得する修行である。

水は千変万化であり、器が丸ならば丸く、四角ならば四角にその姿を変えるものである。

与えられた環境の中で自らが行うことに思慮を巡らし、他をおもんばかる事が求められる行、それが四行である。と水神様に教えられた壺百日であった。

それと同時に、ここで得た経験は本泉寺檀信徒のみならず、拙僧に関わる全ての人の為の活かせるよう日々精進していかねばならないと思に至るのである。

※1『止暇断眠』

昼間の休息や夜の睡眠をなくしてまでも精進、努力すること

日蓮宗大荒行堂 水神相承四百日成満

帰山奉告式



春の陽気が漂う令和五年二月十九日、帰山奉告式が行われました。

荒行僧の力強い読経の聲が境内に響き、式は盛大に挙行されました。

ご参列いただいた檀信徒の皆様には深く御礼申し上げます。

〈連載〉

本泉寺見仏記

かいうんだいこくてん

開運大黒天

第3回



開運大黒天像
像高 三十八cm
奥行 二十cm
仏師 三代目木村鶴光作

毎月毎日信ずること成り難き者は

六斎の甲子に供物を調べ、御祭祀あるべき者也。
是れ秘中の秘なり。

宗祖日蓮大聖人『大黒天神供養相承事』

大黒天はインドにルーツを持つ神であり、日本には密教の伝来と共に伝わり、天部と言われる仏教の守護神に列座している。

軍神・戦闘神・富貴の神とされたが、特に中国においては財福を強調して祀られたものが日本へと伝えられ、伝来初期には主に真言宗や天台宗で信仰された。

インドでも厨房・食堂の神とされていたが、日本においては最澄が毘沙門天・弁才天と合体した三面大黒を比叡山延暦寺の台所の守護神として祀つたのが始まりという。

また、日本では神道の神である「大国主神」と習合し全国に広まっていった。

法華経の中では大黒天の名を見ることは無いのだが、自在天や大自在天などの別名で登場する事から、室町時代になると日蓮宗においても盛んに信仰されるようになる。

本泉寺の大黒天は平成二十三年に二十八日順が日蓮宗大荒行堂三百日の結界修行に挑む際に、檀信徒の浄財を持って造像されたもので、結界三百日成満「大黒相承」の允許をもって年六度の甲子日に大黒祭を厳修している。

お寺の掲示板



鰐口のご奉納

お檀家の恩田勝幸様より鰐口をご奉納いただきました。

筆頭総代であった故恩田義夫様の一周忌の追善としてご奉納下さりました。親子ともにお寺へご貢献いただけますこと、住職として衷心より御礼申し上げます。

お寺へお参りの際はこの鰐口を鳴らして、本堂の諸天善神やご先祖様へ稀有なる佛音をお届け下さい。

成満旗のご奉納

お檀家の恩田勝廣・君子様、ご信者の前林信之様より大荒行堂第四行成満の記念として成満旗をご奉納頂きました。帰山奉告式に華を添えて頂きましたこと、深く御礼申し上げます。



日蓮大聖人の言葉から学ぶ

せき ちゆう

石中の火

ひ

もく ちゆう

木中の花

はな

【観心本尊抄】

く秘めたる可能性く

多くの人は目に見えない物やその存在に気づくことなく見落としてしまいがちです。例えば、道端の石の中に火を見ることがあります。例えませんが、その石を打てば火が出ます。また、木の中にも花を見ることがあります。それが、その時が来れば花が咲くのです。それと同じように私たちの内面にも計り知れない可能性が秘められています。何事もきつかけや時が来れば今は見えないものが現れ出るのでから、目には見えなくても、今は気づいていない大きな可能性を感じる事が大切であると日蓮大聖人は教えているのです。

三月以降の年中行事

○春季彼岸会

三月二十一日（火）

○願満地藏尊大祭

三月二十八日（火）

○大黒祭（甲子日）

三月七日（火）

五月六日（土）

七月五日（水）



●本年二月十日に日蓮宗大荒行堂を無事成満致しました。通算四百日目の加行でしたが、齢を重ねての寒中修行は「しんどい」の一言。しばらくは寺で身体を休めておりますので見かけたらお声がけください。



第5号は令和5年夏発刊の予定です

発行



HONSENJI

日蓮宗 妙福山 本泉寺

埼玉県八潮市二丁目1472-1

TEL:048-996-9843

FAX:048-999-1884

mail:info@honsenji.jp